

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆

# まつしたひろあき県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

「ジャパン・マイス」推進で

## 国際会議の積極誘致を提案

9月県議会一般質問

山武市特集



森田知事を前に壇上から質問する松下浩明県議

地域の発展を願い、市民の生活向上につかり取り組んでいきたい」とする山武市選出の松下浩明(まつした・ひろあき)県議は、9月定例会の一般質問に再び登壇し、国際的なビジネスイベントなどを誘致するため「ジャパン・マイス」の積極的な推進を呼びかけました。議場の傍聴席には、松下県議が県議会の質疑を傍聴するのは、異例中の異例のことです。松下県議はこのほか、児童虐待問題などを取り上げ、県執行部の考え方をただしました。

## 猪口邦子参院議員も傍聴



傍聴席で記者の質問を受ける猪口邦子参院議員

### 地域の発展を願い!

●山武市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

# 松下ひろあき 県議事務所

〒289-1223 山武市埴谷1867-35 TEL.0475-89-0718

松下ひろあき公式ホームページ <http://www.hiroaki-m.net/>

### アンバサダーを任命

#### 海外誘致に向け

松下議員 本県の優位性を十二分に生かしたマイス誘致に、今後どう取り組んでいくのか。森田知事 幕張メッセなどの施設や豊富なホテル群集積、多様な観光資源など、マイス誘致の優位性を生かした誘致を強化するため①毎年開催しているマイス交流会に、本年は在日の大使館関係者も招いて、千葉の魅力や受け入れ体制をPRしているほか②幕張メッセでの保険・金融業界の世界大企業を取組んでいます。これまで本県ではマイスの誘致にどのように取り組んできているのか。

商工労働部長 マイスの誘致を進める上では、官民を挙げた受け入れ体制の必要です。そのため、財團法人ちば国際コンベンションビューローを中心に、宿泊・観光業者などの連携・協力体制を強化することも

に県を挙げて取り組んでいます。

**要望** 本県は、他県に引けを取らないような支援策を用意することはもとより、専門スタッフ、具体的な誘致活動など、あらゆる局面において、他県に幕張で開催されることが決定したところです。

松下議員 皆さん、MICE(マイス)という言葉を聞いたことがあるでしょうか。これはたくさんの集客や交流が見込まれるビジネスイベントなどを総称した呼び方で、4つの言葉の頭文字をとったものです。わが国では、これまでの「コンベンション」という呼び方から、マイスというより広い呼び方に変更するとともに、今年2010年を「JAPAN MICE YEAR」と位置づけて、官民一体となつてこれら積極的誘致に取り組むことを表明しています。

こうした全国各地のコンベンションビューローを束ねているのがJCCBで、この会長が本県出身の猪口邦子参院議員です。本日、お忙しい中、県議会の傍聴席におみえいただいておりまます。そこでお伺いします。これまで本県ではマイスの誘致にどのように取り組んできているのか。

猪口邦子参院議員 これまで本県ではマイスの誘致を進めることとで、オール千葉での積極的な誘致活動を進めることが必要です。そのため、財團法人ちば国際コンベンションビューローを中心、宿泊・観光業者などの連携・協力体制を強化することも

に、国内外の見本市においてPR活動を行うなど、県内へのマイス誘致に取り組んできただころです。こうした結果、平成20年内に幕張で開催されることが決まりました。これには104件の国際会議が開催され、また、先般はアジアで初めてとなる中央及び東ヨーロッパの研究者による国際会議が、2015年に幕張で開催されることが決定したところです。

また、マイス誘致について、民間企業も生き残りのために本気で知恵を出して取り組んでいます。我々も皆さんとともに誘致に取り組んでいくので、千葉県民のため、知事も先頭に立つて取り組んでいただきたい。

平成22年11月3日(水曜日)

**山武市特集**

**明日の山武市を拓く松下ひろあき県議**

**9月県議会一般質問**

**まつしたひろあき**

**県議**

# 児童虐待問題の課題を提起

松下議員 この夏、悲惨な児童虐待が相次いで報道されていました。虐待を受けた子供たちは、体を傷つけられる以上に心が傷つきます。その傷は、時間が過ぎても完全に癒えることはなく、幼い頃から虐待を受けると、成長の過程で極度の人間不信や感情のコントロールができず、突然キレたり、対人関係や感情生活にさまざまであると聞いています。

子供たちの将来が、非常に心配であります。虐待を受けた子供の、その後の心理的ケアの体制は十分に行われているのか。

健康福祉部長 県では、児童相談所での一時保護、施設等への入所、家庭復帰

要望 県としても、さまざまなもので、今お聞きして



議場から再質問に立ち上がる松下県議

松下議員 この夏、悲惨な児童虐待が相次いで報道されていました。虐待を受けた子供たちは、体を傷つけられる以上に心が傷つきます。その傷は、時間が過ぎても完全に癒えることはなく、幼い頃から虐待を受けると、成長の過程で極度の人間不信や感情のコントロールができず、突然キレたり、対人関係や感情生活にさまざまであると聞いています。

司によるカウンセリングなどを実行しています。児童養護施設等に入所中の子ども

松下議員 この夏、悲惨な児童虐待が相次いで報道されていました。虐待を受けた影響は大きく、感性も高いと聞いています。ですから、その後の生活をしっかりと支援し、心理的

松下議員 県道飯岡一宮線小松浜バイパスの進捗状況と今後の見通はどうか。

県土整備部長 小松浜バイパスは、県の観光資源である九十九里海岸の蓮沼海浜公園へのアクセス強化を図るため、山武市小松地先から木戸地先に至る約1キロ区間の整備を進めているところです。

これまでに用地買収を優先的に進めてきたところであり、平成21年度末の用地の進捗状況は、面積ベースで約46%となっています。

松下議員 作田川河川改修の進捗状況はどうか。

作田川の改修状況 松下議員 作田川河川改修は、概ね1時間当たり50ミリの降雨に対応できるよう、昭和60年度から事業着手され、改修延長15・4キロのうち、約7割である11キロで整備が完了しています。

松下議員 教員人事権の移譲問題は、文

科省がかねてから

松下議員 今まで以上に推進されることを強く要望してお

小松浜バイパスが

これまで以上に推進さ

れることがあります。

松下議員 今後も改修予定は

ます。

松下議員 今後も改修予定は